

## 情報システム・バックアップオフィス研究会 2013年度 第8回 議事録

### 1. 開催概要

- 開催日 : 2014年1月14日(火) 16:30~18:30
- 開催場所 : BCAO 東京オフィス
- 進行役 : 岡(ソフトバンクBB:座長)
- 議事録作成: 岡(ソフトバンクBB)
- 出席者数 : 7名

No.	氏名	会社名
1	岡 伸幸	ソフトバンク BB
2	伊藤 高信	FUN Inc.
3	田中 弘明	SCSK
4	西出 三輝	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
5	羽生田 和正	アスラボ
6	真城 源学	イツツ・コミュニケーションズ
7	吉川 明人	NECネクサソリューションズ

- 配布資料 :  
ISO27001 (ISMS) 規格改訂における変更点と ISO22301 (BCMS)との差異)  
(ISO27001 付属書 A 「事業継続管理」と ISO22301 との差異) (短説)

### 2. 議事内容

#### 1) 事務局からの報告

(1) 研究会のメンバー構成: 35名

(2) 関連イベントについての実施報告と今後の予定について報告された

#### ○BCAO 活動報告

- ◆11月27日: 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換
- ①12月1日: 第3回 事業継続初級管理者試験(東京会場)
- ◆12月6日: 事業継続主任及び准主任管理者 継続教育/専門家レベルアップ教育
- ①12月7日: 第3回 事業継続初級管理者試験(大阪会場)
- ◆12月11日: 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換
- ◆12月17日: 12月度月例会

○活動予定

- ◆12月18日：事業継続と両輪の企業防災（個別リスク対策）の講習及び意見交換
- ◆1月14日：2013年度1月度月例会（中止）
- ◆1月15日：事業継続と両輪の企業防災（個別リスク対策）の講習及び意見交換
- ◆1月28日：事業継続主任及び准主任管理者 継続教育／専門家レベルアップ教育
- ◆1月29日：事業継続と両輪の企業防災（個別リスク対策）の講習及び意見交換

※詳細はBCAOホームページをご確認ください。

(3) 運営会議

- ①経営者向けセミナーの開催について
- ②月例会及び事業継続と両輪の企業防災（個別リスク対策）の講習の開催について
- ③「岡山地域勉強会」の新設について
- ④アワードの応募状況の報告について

3. 討議内容（以下の3項目について議論を行った）

(1) プレゼンテーション

「ISO27001 (ISMS) 規格改訂における変更点と ISO22301 (BCMS)との差異」  
(ISO27001 付属書 A 「事業継続管理」と ISO22301 との差異) (短説)  
SCSK 株式会社 田中弘明様

① 「今回のポイント」

ISO27001:2013発行  
ISO27001 (ISMS) 規格改訂における移行計画と変更点について

2013年10月1日にISO/IEC27001:2013が発行。

どのような改訂がなされたのか？

ISO22301:2012  
共通事項

今回の改訂のポイントは、2つ

**1.マネジメントシステム規格での共通要求事項の適用**

**2.リスクマネジメント規格 (ISO 31000)への対応**

② 「マネジメントシステム規格での共通要求事項の適用」

## 1. マネジメントシステム規格での共通要求事項の適用

★ ISOマネジメントシステム規格構造の共通化「ISO/IEC専門業務用指針」



ISOマネジメントシステム規格の  
共通基本構造(上位構造:HLS)

附属書SLの「Appendix3(規定)上位構造、共通の中核となるテキスト、共通用語及び中核となる定義」には

各ISOマネジメントシステム規格(MMS)の整合性確保のためのMSS共通基本構造(上位構造: High Level Structure[HLS])が定められており、2015年に改正が予定されている。

すでに、ISO22301はHLSを採用して作成されている。主要なISOマネジメントシステム規格の改正予定は、2013年10月にISO27001(情報セキュリティ)、2015年1月にISO14001(環境)、2015年9月ISO9001(品質)となっており、様々なISOマネジメントシステム規格の共通化が進められていく。

### ③ 「リスクマネジメント規格 (ISO 31000) への対応」

## 2. リスクマネジメント規格(ISO 31000)への対応

★ 「ISO31000 Risk management — Principles and guidelines」



2005年度版の定義は  
「事象の発生確率とその結果の組み合わせ」

↓

2013年度版でのリスクの定義は  
「目的に対する不確かさの影響」

2013年度版におけるリスクの定義に基づくリスクの把握の意味

「情報セキュリティ目的」に対する不確かさを与えるものは何か？  
に関してリスク源に基づいてアセスメント(リスクの特定、分析、評価)をすることになる。」

討議：

- ・ ISO27000 シリーズは、ITBO として取り扱うべきものか？  
⇒情報システムを取り扱う点では ITBO としても扱うものである。
- ・ ISO27001:2013 版の構成 (目次)  
「6 計画」の「6.1.2 情報セキュリティアセスメント」、  
「6.1.3 情報セキュリティ対応」と  
「8 運用」の「8.2 情報セキュリティアセスメント」、「8.3 情報セキュリティ対応」  
の同様な項目名称に対する内容の相違について  
⇒MS (マネジメントシステム) における PDCA の解釈としてはどうなるのか？  
⇒結果的に ISO27002 と合わせて参照すべきでは？  
⇒2005 年版と 2013 年版の本文要求事項の対比が参考になる。

## (2) 関西支部会との ITBO 研究部会活動成果講演と意見交換会の実施について

日時：1月24日(金) 18時30分～20時30分

場所：大阪市中央公会堂地下1階展示室 (<http://osaka-chuokokaido.jp/access/>)

話 題：首都圏と関西圏での相互バックアップのあり方について

(ITBO 研究部会の活動成果講演と意見交換)

主 旨：首都圏、関西地域および Head Office、Branch Office の双方向からの視点で

相互バックアップのあり方について主に情報システムとバックアップオフィスの観点から意見交換する。

プレゼンター：

- ・ 岡 伸幸（ソフトバンク BB）：  
この2年間のBOテーマの流れ（予定）  
（代替拠点を含め、バックアップオフィスからバックアップオペレーションへの変遷）等
- ・ 吉川 明人氏（NEC ネクサソリューションズ）：  
IT関連から、情報システムの多重化、冗長可、セキュリティ、クラウド利用などの具体策（予定）
- ・ 近藤 隆一氏（富士通エフサス）：  
ディスカッションでのITBO、個人およびエフサス（富士通）の見解など（予定）

### （3）その他

- ・ 2月の定例会に、プレゼンテーションの講師として  
関西支部 柳父行二様(関西支部副支部長 元大阪ガス)をお呼びするため調整中。  
※柳父行二様が書かれた論文、記事などにつきましては、  
ITBO 研究会の Google ドライブにアップしていますのでご覧ください。

※Google ドライブにて議事録、成果物、プレゼン資料などをアップしております。Google ドライブへのアクセスを希望される方は、お持ちの Google アカウント (gmail アドレス) を座長あてにお知らせいただけましたら共有権を付与いたします。

宛先： 座長：岡 ([nobuyuki.oka@g.softbank.co.jp](mailto:nobuyuki.oka@g.softbank.co.jp))

## 4. 次回（2013年度 第10回）ITBO研究会の日程

●日時：2月12日（火） 16:30～18:30

●場所：BCAO 東京オフィス

※研究会開催後に「親睦会」を開催します。参加希望を追ってご連絡しますので  
ご予約いただければ幸いです

●2013年度 ITBO 研究会開催スケジュール

	開催日		時間	場所
1	2013年	4月9日(火)	16:00～18:00	富士通エフサス様
2		5月14日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
3		6月11日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
4		7月9日(火)	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
		8月6日(火)	開催なし	
5		9月10日(火)	16:30～18:30	IIJ 様本社ビル

6		10月8日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
7		11月12日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
8		12月10日(火)	16:30~18:30	(中止)
9	2014年	1月15日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
10		2月12日(水)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス
11		3月11日(火)	16:30~18:30	BCAO 東京オフィス

以上